

委員会活動報告書

委員長名 松原 三智子

【委員会名】 教育課程委員会

【メンバー】

◎松原 三智子(北海道科学大学)、○山田 小織(佐賀大学)、¥草野 恵美子(大阪医科薬科大学)
伊木 智子(関西看護医療大学)、入野 了士(愛媛県立医療技術大学)
氏原 将奈(淑徳大学)、塩川 幸子(旭川医科大学)、高橋 郁子(帝京平成大学)
田場 真由美(名桜大学)、萩原 智代(日本赤十字秋田看護大学)
オブザーバー:岩本 里織(神戸市看護大学)

50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名

【活動方針】

1. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(改訂版)を作成し、保健師教育の内容の充実を図る。
2. 上記1. を作成するうえで、保健師教育の課題について明らかにし、課題の改善および教育内容の充実を図るために指定規則改正等に資する検討を行う。
3. 保健師長会等の職能団体との連携を図り、現場に向けた最新の教育内容方法についての発信を促進する。

2024(令和6)年度

達成目標	1. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(改訂版)を作成する。 2. 保健師教育の課題について、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(改訂版)作成の中から把握する。 3. 共通の(活動分野に拠らない)公衆衛生看護技術に関する情報発信を行う。
活動報告	1. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム2024改訂版について、保健師のコアコンピテンシーに合わせて既存のモデル・コア・カリキュラム2017の内容を整理し、夏季教員研修会、パブリックコメント等を踏まえて、会員の意見を集約しながら作成した。2025年3月11日に会員集会を開催して内容について公表を行った。本改訂版については、全保教のホームページにおいてダウンロードできるようにした。また、文部科学省・厚生労働省、保健師関連6団体等にも報告・周知予定である。 2. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムを改訂するうえで見えてきた保健師教育の課題は、①公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの学修内容の更なる充実化において学士課程4年間で実施することの困難さと教育内容の質保証、②看護学教育と公衆衛生看護学教育の到達度の違いを差別化する必要性、③2040年の社会に求められる保健師の養成を踏まえた革新的な教育内容の充実(気候変動に伴う健康への影響や災害等への対応、多様性や包括・包摂の推進、情報科学技術の活用方法等)、④合意と解決を導くコミュニケーション能力の向上、⑤保健師のコアバリューを育む教育方法等についてであり、今後検討が必要である。共通の(活動分野に拠らない)公衆衛生看護技術について、2024年3月に報告書を作成して会員校、保健師関連団体6団体等に送付して周知を行うとともに、報告書に記載した公衆衛生看護技術の一部教材を、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラムの学修方略と学修評価の章で紹介して情報発信を行った。 3.